

晴れて大人の仲間入り(8月15日)

市主催の成人式が市民文化会館で行われ、709人が大人の仲間入りをしました。

会場にはスーツや華やかなワンピースなどに身を包んだ新成人が勢ぞろい。市長や来賓からの祝辞のあと、新成人を代表して近藤雄紀さん(塞ノ神)が「家族や地域の期待に沿える人間になりたい」と力強く誓いました。式には恩師も招かれ、懐かしい顔ぶれが紹介されると、新成人から歓声と拍手が沸き起こりました。

終了後には、久しぶりに再会した友人たちと、笑顔で写真を撮り合う光景が見られました。



喜びの新成人の皆さん

夜空に咲く大輪の花



花矢地区の夏祭りが花岡体育館特設会場で開催され、夜空に咲く花火を楽しみました。

この祭りは実行委員会(白川懸土委員長)が主催して行われたもの。昨年、花岡中学校の有志が費用を持ち寄り、鉱山の衰退でなくなってしまった花火を22年ぶりに復活させて、75発の花火を打ち上げました。今年は地域内外に協賛金を募り250発の花火を用意。色鮮やかな大輪の花は、約20分間休みなく打ち上げられ、会場を埋め尽くした観客から大きな歓声が上がりました。

花矢夏祭り
(8月13日)

比内盆まつり(8月16日)

大館北秋商工会主催のひない盆まつりが米代川河川敷で行われ、たくさんの人でにぎわいました。

このまつりは、灯ろうで祖先の供養をするもので、平成15年に旧比内町商工会青年部が中心となって、10年ぶりに復活させたもの。

河川敷には、地元の皆さんや帰省客など多くの方が詰め掛け、送り太鼓と読経が流れる中、願いを込めた灯ろうを次々に川に流していきました。暗闇に浮かび揺らめく灯ろうは、なんとも幻想的。

最後は打ち上げ花火で締めくくり、観客からは歓声と拍手が沸き上がっていました。



幻想的な灯ろうの火



じっくりと焼くアユの千匹焼き

田代地域の名物「アユ」にちなんだ第43回「大鮎の里ふるさとまつり」が、外河原の米代川河川緑地(釣りきち広場)で行われました。

会場には出店が立ち並び、「鮎の千匹焼き」には、じっくりと炭火で焼いたアユを買い求める人たちで長い列ができました。

また、イワナ、ニジマスのかみ獲りには大勢の子供たちが参加、田代太鼓や盆踊り大会も行われました。フィナーレを飾った花火大会に、行く夏を惜しみました。

豪快に鮎の千匹焼き
(8月17日)